

# 出張講義のご案内



湘南医療大学

Shonan University of Medical Sciences



薬学部

薬学

## 睡眠薬を使う時に知っておきたいこと

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学棟 4 階学部長室

001

学部長/教授 鈴木 勉

### 内容

不眠症について紹介し、その治療に用いる睡眠薬の種類、使い分け方と作用の仕方、さらに依存性などの注意すべき点について紹介する。



薬学

## がんの痛みと医療用麻薬

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学棟 4 階学部長室

002

学部長/教授 鈴木 勉

### 内容

WHO方式がんの痛みの薬物療法を紹介し、用いられる医療用麻薬の作用の仕方や依存性などの注意すべき点について紹介する。



薬学

## DNA 二重らせん構造 ～二十世紀最大の発見～

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室6

003

教授 石川 吉伸

### 内容

生命科学研究の真の幕開けは、DNA 二重らせん構造の発見から始まった、と言っても過言ではありません。この大発見はワトソンとクリックによってなされましたが、実はそれは多くの研究者によりもたらされた研究結果の集大成でもありました。本講義ではそれまでのいきさつをわかりやすく紹介いたします。



薬学

## 科学技術史の裏通り

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室6

004

教授 石川 吉伸

### 内容

科学・技術における様々な発見には、運・不運が常につきまといまいます。そこで、偶然から生まれ飛躍的な発明や発見をした幸運な科学者・技術者や、また不運にも競争に敗れてしまった研究者を事例を添えて紹介いたします。



薬学

## 古くて新しい感染症「結核」

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学棟8階教授室23

005

教授 石橋 芳雄

### 内容

結核は決して過去の感染症ではありません。現代の日本でも結核と診断される人は毎年1万5000人以上もおり、さらに結核で死亡する人も毎年2000人前後もいます。また、現在の治療薬では効かない耐性結核も増加しており、結核は昔の病気でも蔓延国だけの病気でもなく、我々にとっても身近な病気です。結核の予防と早期発見・早期治療についてお話しします。



薬学

## 皮膚常在菌と皮膚炎

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学棟8階教授室23

006

教授 石橋 芳雄

### 内容

皮膚には常に様々な微生物が生息していますが、微生物の種類や数のバランスが皮膚の健康に大きく影響することがわかってきました。皮膚常在菌と皮膚炎との関係についてお話しします。



薬学

007

## 「アンサンブシンドレラ」はドラマの話ではなく実際の医療現場もそうなっています。

教授 加賀谷 肇

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階教授室17

### 内容

病院薬剤師として働く葵みどり（石原さとみ）の活躍の様子をテレビを通してご覧になった方も少なくないと思います。これはドラマのための作り話ではなく、多くの病院薬剤師が患者さんのために働く姿を的確に捉えたストーリーです。私は日本の臨床薬学の黎明期から、薬剤師の臨床業務を確立した者の一人として、苦労ややりがいなどをお話ししたいと思います。



薬学

008

## がん患者さんの「苦痛からの解放」を目指す薬学

教授 加賀谷 肇

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階教授室17

### 内容

医療現場は医師、看護師が中心で行われていた時代から個々の医療職の専門性が発揮できるチーム医療の形態に変化しております。薬学を学んだ薬剤師がチーム医療においてどのように活躍しているのか、求められる専門性について緩和ケアを例に講義いたします。



薬学

009

## 知って得する薬の情報

教授 加藤 裕久

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階教授室19

### 内容

「医者も薬も匙加減」という格言があります。ほんの少しの薬の飲む量の違いによって、薬の効果の現れ方が大きく違ってくるので、昔、それを使い分けられるのが「名医」とされました。また、薬の効く人と効かない人がいます。そして、昔から鉄剤とお茶を同時に飲んではいけないと言われていました。どうしてでしょうか？薬についてのさまざまな疑問についての解決するヒントと薬の情報のやさしい調べ方をお話しします。



薬学

## よくわかるがん治療

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階教授室19

010

教授 加藤 裕久

### 内容

「日本人の2人に1人が生涯でがんになる」、「日本人の3人に1人はがんで亡くなる」中で、身近な病気であるがんの治療法についてお話しします。特に抗がん薬の作用と使い方を理解するための基本的な臨床知識をわかりやすく紹介します。



薬学

## 感染症との上手な付き合い方

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 8階教授室24

011

教授 木村 聡一郎

### 内容

感染症の原因は、顕微鏡でしか確認できない小さな小さな病原体です。それらは私たちの見えない環境で増殖し、他の人・地域に広がってしまいます。時に大切な人や動物を死に追いやる感染症、高度医療が発達した現代社会においても無くなることはありません。ただ、私たちは感染症を理解することにより感染症をコントロールすることができます。本講義では、感染症を理解する上で重要な3つの要因について触れ、それらを考慮した「感染症との付き合い方」を皆さんと考えたいと思います。



薬学

## 密かに忍び寄る新たな感染症

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 8階教授室24

012

教授 木村 聡一郎

### 内容

新型コロナウイルス感染症の世界的流行が未だに終息しない状況ですが、新しい感染症が水面下で広がっていることをご存知でしょうか？その感染症は、何も対策をとらないでいると、数十年後には最も死亡者数の多い「がん」をも上回ると予想されています。本講義では、過去の感染症とその治療薬の歴史を振り返り、新たに忍び寄る感染症について説明し、今後の対策を皆さんで議論したいと思います。



薬学

## 薬をデザインする

研究室場所

013

教授 栗原 正明

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室 2

### 内容

薬を分子設計（ドラッグデザイン）し合成する研究を行っています。薬の多くはタンパク質と結合することによりその機能を発揮します。コンピュータシミュレーションによりタンパク質と結合する分子の構造を設計し、それを有機合成することにより薬の創製を行います。抗腫瘍薬、骨粗しょう症治療薬などの実際の研究について話します。



薬学

## 化学物質のインシリコ活性予測

研究室場所

014

教授 栗原 正明

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室 2

### 内容

インビボ、インビトロという言葉聞いたことがあるでしょうか。コンピュータで行うことをインシリコといいます。インシリコにより化学物質の生物活性（薬効・毒性）を予測することができます。応用範囲は非常に広く、違法薬物（危険ドラッグ、麻薬等）の作用を予測して、迅速に規制する。毒性を予測することで、動物を使って毒性を調べる必要がなくなり動物愛護の観点からも重要な方法になります。これまで実際に行った研究について話します。



薬学

## 細胞内の標的タンパク質を分解する

研究室場所

015

教授 栗原 正明

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室 2

### 内容

細胞内の標的タンパク質を分解することができます。プロテインノックダウンという手法です。化学物質（薬）を使って行います。疾病の原因となるタンパク質を細胞内から除去することで、治療薬を開発することができます。実際に開発したいくつかのプロテインノックダウン分子についてお話します。



薬学

## 薬を投与してから効果が出るまで

研究室場所

016

教授 国分 秀也

東戸塚キャンパス  
薬学棟5階教授室14

### 内容

薬は、どのようにして効果を発揮するのでしょうか。錠剤を服用すると、まず、胃に到達し、主に小腸で吸収され、肝臓に行きます。肝臓で薬は分解され、便に排泄されたり、全身の血液へぐるぐるまわります。そして、腎臓から排泄されます。その間、組織に薬は移動し、受容体と結合し、効果を発揮します。薬の効き方は、これらの過程で個人差がありますので、強く作用する人、弱く作用する人がいます。今回の講義では、それらの内容をわかりやすく解説します。



薬学

## 関節の構造と関連する疾患

研究室場所

017

教授/副学部長 定本 清美

東戸塚キャンパス  
薬学棟4階教授室8

### 内容

関節は骨と骨をつなぎ、様々な動きを可能にしている。関節の基本的な構造と、関節に関わる疾患や治療について主となるものをまとめる。



薬学

## アレルギー反応のいろいろ

研究室場所

018

教授/副学部長 定本 清美

東戸塚キャンパス  
薬学棟4階教授室8

### 内容

アレルギーは花粉症や皮膚炎など。身近な疾患も多い。アレルギーが起こる仕組みにはいくつかの分類があり、それぞれに疾患が対応している。アレルギーの仕組みとよくある疾患について解説する。





薬学

## アトピー性皮膚炎について

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学棟4階教授室8

019

教授/副学部長 定本 清美

## 内容

アトピー性皮膚炎の特徴や、治療に必要な分類などを解説する。また、治療に必要な注意や薬についても概要を説明する。



薬学

## サプリメントの本当のこと？

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学棟4階教授室9

020

教授 佐藤 淳也

## 内容

サプリメント、いわゆる健康食品の市場規模は、年間9,000億円も売られています。患者さんのみならず国民がサプリメントを使用する動機には、もっと健康に、もっと元気にといい願いがあります。しかし、一部には病気の状態や治療中のお薬との併用に注意すべきサプリメントがあります。薬剤師が教える上手なサプリメントとの付き合い方をお話します。



薬学

「治験」ってな～に？  
新しい“くすり”を次世代に送るために

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学棟4階教授室9

021

教授 佐藤 淳也

## 内容

新しいお薬が世の中にできるには、治験という安全性、有効性を証明する試験が必要です。治験には、皆さんが参加もできますし、医療に関わり病院などでの仕事には、治験に関わることが少なくありません。私達が新しいお薬師の恩恵を受けるのは、この「治験」というステップがあることをわかりやすく解説します。





薬学

022

## ここまで進んだ抗がん剤治療 ～がん専門薬剤師が教える治療最前線～

教授 佐藤 淳也

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学棟 4 階教授室 9

### 内容

がん治療の3大治療とは、手術、放射線と抗がん剤治療です。お薬によるがん治療を化学療法と言います。このお薬の進化は、3大治療の中でもっとも進んでいます。また、効果だけでなく、副作用対策、そして薬剤師や看護師、多職種で関わるチーム医療という体系も大きく進みました。がん専門薬剤師が、そんな最前線を紹介します。



薬学

023

## くすりは体の中でどうなる？

教授 佐野 和美

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階教授室18

### 内容

薬の吸収から代謝・排泄までの流れを、モデル化合物（肝臓で代謝されて弁に排泄される物質、腎臓でろ過されて尿に排泄される物質）に分けて説明します。



薬学

024

## がんとくすり

教授 佐野 和美

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階教授室18

### 内容

癌はどのように発生し、どのような薬が開発され、治療が進んできたかを説明します。



薬学

## 海馬神経細胞の再生・新生について

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 7階教授室20

025

教授 塩田 清二

### 内容

我々は神経ペプチドPACAPがラット海馬の神経細胞の細胞死を抑制し、新たな神経再生や神経新生を行うことを明らかにしている。将来的にこのペプチドが認知症の予防や改善につながる可能性について創薬を含めて解説する。



薬学

## 認知症の予防改善

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 7階教授室20

026

教授 塩田 清二

### 内容

認知症の予防改善法については現在の医学では有効な方法はない。そこで芳香療法を用いると大脳皮質の脳血流が増加し、認知機能が改善されるという臨床データを我々は出している。臨床試験データなどを用いて芳香療法による脳機能の改善や認知症の予防法などを解説する。



薬学

## ドライアイの予防治療法の開発

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 7階教授室20

027

教授 塩田 清二

### 内容

ドライアイの患者は国内で2千万人を越えるといわれるが有効な手立てはない。我々は動物実験で神経ペプチドPACAPがドライアイの予防・改善につながることを2019年に論文発表した。将来的に、このペプチドがドライアイ治療につながる可能性について創薬を含めて解説する。



薬学

## タンパク質の老化をもたらす非酵素反応

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室3

028

教授 高橋 央宜

## 内容

生体内の化学反応は驚異的なほど高度に制御されていますが、完璧ではありません。長寿命のタンパク質中では、「良からぬ非酵素反応」が少しずつ進行していて、老化や加齢性疾患の一因になっていると考えられます。そのような反応の例を紹介するとともに、コンピュータを用いる計算化学によって、反応の詳しいメカニズムがどのように明らかになりつつあるかをお話します。



薬学

## 痛みと鎮痛：古くて新しいアスピリン

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室 1

029

教授 東山 公男

## 内容

アスピリンは、100年以上前に鎮痛薬として開発され、今もなお年間5万トンも生産されている歴史ある薬です。その後、抗血小板作用が明らかとなり、現在では虚血性心疾患の治療薬としても欠かせない薬となっています。しかし、その作用機序が明らかとなったのは比較的新しいのです。今回の講義では、アスピリン開発の歴史を紀元前400年以上前にさかのぼってお話します。



薬学

## 右手と左手のはなし

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室 1

030

教授 東山 公男

## 内容

ある日の朝、右手に歯ブラシを持ったあなたは、鏡に映った自分が左手に歯ブラシを持っていることに気が付きます。鏡に映ったあなたは、元のあなたと別の存在なのです。実は、薬の中にもちょうど右手と左手のような鏡像関係にある化合物があります。そして、これらの化合物は体への作用に差があり、時に副作用などの原因となります。今回の講義では、薬の立体的な構造がいかに大切かについてお話します。



薬学

## 危険ドラッグとは何か？

研究室場所

031

教授 船田 正彦

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 5階教授室15

### 内容

危険ドラッグ乱用は社会問題となっています。危険ドラッグとは何か？なぜ、流通してしまうのか？その使用による危険性は？薬学領域で明らかになっている研究成果から危険ドラッグ、大麻、麻薬、覚醒剤などの薬物乱用防止の重要性を一緒に考えます。



薬学

## なぜ、人は薬物に魅了されるのか？

研究室場所

032

教授 船田 正彦

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 5階教授室15

### 内容

麻薬や覚醒剤は使用が止まらなくなる薬物依存を引き起こすことが知られています。薬物依存を引き起こす薬物をまとめ、その使用の危険性を解説します。また、薬物依存を脳の病ととらえ、依存に陥る脳内メカニズムを解説します。薬物乱用防止の重要性を一緒に考えます。



薬学

## 医薬品や飲食物含有の成分から考える安全性

研究室場所

033

教授 船田 正彦

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 5階教授室15

### 内容

医薬品は用法・用量を守って使用することが重要です。医薬品であっても正しく使用しない場合は、様々な健康被害の発生が危惧されます。同様に、エナジードリンクなどの日常摂取している飲料品についても含まれている成分を知ることによって、健康被害の発生を防ぐことができます。医薬品や飲食物に含まれる成分に着目して、正しく摂取する重要性を一緒に考えます。



薬学

## 疫学研究とは？

研究室場所

034

教授 古屋 博行

東戸塚キャンパス  
薬学部棟4階10号室

### 内容

疫学研究の歴史や基礎的な考え方を知り、研究結果がどのように役立っているか感染症疫学、臨床疫学、薬剤疫学等の分野での事例を紹介。



薬学

## 治療と仕事の両立支援について

研究室場所

031

教授 古屋 博行

東戸塚キャンパス  
薬学部棟4階10号室

### 内容

がん治療分野でも新薬が登場し外来治療の機会が増えている。治療における副作用等に対して就業上の配慮をすることで仕事を継続しながら治療が可能となっている。また、糖尿病治療におけるインスリン自己注射等に対し職場における周囲の理解が治療の中断を予防することにつながる。薬剤師にとっても「両立支援」という社会的処方について知っておくことは重要と考えられる。



薬学

## 医療現場における化学反応（注射薬配合変化）

研究室場所

032

教授 湯本 哲郎

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 5階教授室11

### 内容

薬剤師は、医療チームの中で“くすり”だけでなく“化学”の専門家として活躍しています。一例として、2種類以上の注射薬を混ぜる際に、化学的および物理化学的反応である“注射薬配合変化”を予測し、その回避方法を医療従事者へ情報提供することが挙げられます。今回の講義では、皆さんが学んだ代表的な化学反応の知識が患者さんの安全管理にどのように活用されているかを一緒に考えていきます。



薬学

## 病理という謎の学問を覗いてみよう

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 4階教授室13

033

教授 若山 恵

### 内容

皆さんは「がん」の診断がどのように行われているかご存じでしょうか？私の専門である病理学とは、ヒトの身体から採取された臓器や組織について、肉眼や光学顕微鏡を主要な武器として、どのような異常があるのか、主に目でみて判断し、診断する学問です。通常業務の多くはがんに関連するもので、がんの診断だけでなく、分子標的治療に用いる標本や部位の決定、様々な治療による効果の判定など、幅広くかかわっています。今回は私たち病理医の仕事の一端を実例を交えてご紹介します。



薬学

## 真菌（カビ）とは・・・環境に潜む病原菌

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 4階教授室13

034

教授 若山 恵

### 内容

皆さんは「真菌」をご存じでしょうか？通常「カビ」と呼ばれ、身近なものではお風呂場のタイルの目地に生えている黒っぽいものや、「洗濯槽クリーナー」で退治される「カビっぽいにおい」の原因菌、あるいは梅雨の時期に最盛期を迎える「水虫」の原因菌としてご存じだと思います。真菌は、時には病気の原因となり、あるいは既に病気を持ったヒトに感染し、生命の危機を招くこともあります。今回は、ヒトに感染する病原菌として最も頻度の高い真菌の一つである「アスペルギルス」についてご紹介します。



薬学

## 糖質の代謝と糖尿病とくすりのはなし

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 7階教授室 22

035

准教授 石田 洋一

### 内容

糖尿病は、持続的に高血糖状態が続くことによって、身体の様々な場所が障害される病気です。現在、日本には、糖尿病またはその疑いがある方が約2000万人いるとされており、今や国民病ともいえます。今回の講義では、ヒトはどのようにして糖尿病になるのか、そして、その治療薬にはどのようなものがあるのかについて、分かりやすくお話しします。



湘南医療大学

Shonan University of Medical Sciences



薬学

## タンパク質と医学・薬学

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 7階教授室 22

036

准教授 石田 洋一

### 内容

細胞は遺伝子 (DNA) を設計図として様々なタンパク質を合成します。ヒトは20000種類の遺伝子を持っており、それぞれから合成されたタンパク質が生きる上で重要な役割を果たしており、病気の発症とも深い関係があります。今回の講義では、すべてのタンパク質を分析する技術であるプロテオーム解析と呼ばれる基盤技術に焦点を当て、技術の原理やこの技術を用いて行われた研究についてお話しします。



薬学

## 真菌による感染症

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 8階  
セミナー室13

037

准教授 市川 智恵

### 内容

真菌による感染症には白癬などの表在性真菌症のほかに、体の深部の組織に感染する深在性真菌感染症があります。深在性真菌症の多くは免疫機能が低下した人に日和見感染症として発症します。これら真菌による感染症とその病原因子などについてお話しします。

No  
Image

薬学

## 微生物感染症とその制御について

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 8階  
セミナー室13

038

准教授 市川 智恵

### 内容

微生物は環境にも広く存在し、食品にも利用されています。その中で、感染症を起こす細菌、ウイルス、真菌と消毒・滅菌の作用についてお話しします。

No  
Image



薬学

039

## 薬剤耐性（AMR）ってなに？

准教授 小野塚 真理

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 8階  
セミナー室10

### 内容

薬剤耐性（AMR）とは感染症に対して抗菌薬が効かなくなることです。その対策をしないと30年後には世界で年間約1,000万人が亡くなると予想されています。薬剤耐性菌が発生する原因とそのメカニズム、薬剤耐性の対策と予防についてお話しします。



薬学

040

## 自然が生み出す薬物

准教授 片川 和明

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室 4

### 内容

自然界に存在する化合物(天然物)は、合成化合物とは一線を画す多様な化学構造と生理活性を持っています。本講義では、身近な薬用植物とその用途(生薬学、漢方医学と関連する化学)、天然物を素材とした創薬研究についてお話しします。



薬学

041

## 生薬と漢方

准教授 片川 和明

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室 4

### 内容

桃の種、蜜柑の皮、蟬の抜け殻、これらに共通するものは何でしょうか？  
実はすべて生薬として用いられるものです。本講義では、生薬についてその歴史や漢方の考え方などを交えてお話しします。



薬学

## メントールの科学

研究室場所

042

准教授 片川 和明

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室 4

## 内容

(-)メントールはそう快な香りを示す天然由来物質で、医薬品や香料などとして利用されています。本講義ではその化学構造を中心に、香りの体験も交えながら薬学的に関連する内容についてお話しします。



薬学

## 高校生に知ってほしい「お酒とタバコ」のこと

研究室場所

043

准教授 加藤 英明

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 7階教授室21

## 内容

高校生（20歳未満）は「お酒とタバコ」が禁止されています。なぜでしょう？  
お酒には「二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律」、タバコには「二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律」のルールがあるからです。でも、もう少し「お酒とタバコ」のこと知ってみませんか？20歳になれば、みなさん自身に飲酒・喫煙の判断が委ねられます。その前にご自身の未来・健康のことを考えてみませんか？飲酒や喫煙のリスクに関するお話しです。（ご希望によりアルコールパッチテストも実施します）



薬学

## 放射線の科学

研究室場所

044

准教授 加藤 英明

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 7階教授室21

## 内容

私は薬学部で「放射化学」の講義を担当しています。身近な放射線「紫外線・可視光線・赤外線」から電離放射線「X線・ガンマ線、等」までを入門的に解説します。医療分野（レントゲン・CT・マンモグラフィ、等）から各分野（宇宙・原子力・研究、等）での利用についても知ってみませんか？放射線についてリスクも含めて興味・関心を抱いて欲しいです。



薬学

## 医療英語の基礎構造

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教員室1

047

准教授 須田 篤也

### 内容

医学・医療で用いられる専門用語はギリシア語やラテン語に由来する単語が多いのが特徴です。そうした単語は語根・接頭辞・接尾辞という構成要素の組み合わせでできています。その基礎構造を理解すれば比較的容易に医療関連の英語の習得ができると同時に、初見の単語の意味を推測することができます。本講義では、そうした基礎構造を紹介します。



薬学

## くすりとセルフマネジメント

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 4階教授室12

048

准教授 竹内 尚子

### 内容

薬を毎日飲むようにと医師から言われていても、全てを正しく飲んでいる患者さんは半数にも満たないとされています。とくに精神疾患の患者さんでは、その傾向が高まりますが、その大きな理由は薬に対する理解が不足していることと言われています。薬の役割、良い点だけでなく、悪い点（不利益となる点）の説明や日常生活の中での注意点、よくある質問などを通して、薬を正しく知るとともに、薬との上手な付き合い方についてお話しします。



薬学

## 自殺防止について薬剤師にできること

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 4階教授室12

049

准教授 竹内 尚子

### 内容

15から19歳の死亡原因の第1位は、自殺であることが続いています。コロナウイルス感染症により少し状況は変わりましたが、働き盛りの20から30歳代までの死亡原因も自殺が上位です。薬を服用してから行動に出る場合が少ないことから、薬剤師はゲートキーパーとしての役割があるとされています。日本における自殺防止対策や薬剤師でもできることについてお話しします。



薬学

## セルフメディケーションとくすりの正しい使い方について

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階  
セミナー室9

050

准教授 寺島 朝子

### 内容

セルフメディケーションという言葉を知っていますか？私たちの体には病気や怪我などから回復するための力（自然治癒力）があって、この力を助けるためにくすりを使いますが、軽微な体調不良に対して市販薬を使って自分で手当することをセルフメディケーションといいます。セルフメディケーションを上手に行うためにはくすりに対する正しい理解が必要です。そこで、講義ではセルフメディケーションを上手に行うために、「くすりを正しく使う」ということについて解説します。



薬学

## 感染症予防のための基礎知識

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階  
セミナー室9

051

准教授 寺島 朝子

### 内容

学校は集団生活の場であり、さまざまな感染症が発生、拡大しやすい状況にあります。感染症を予防するためには、平時からの予防対策と感染症発生時における拡大防止対策が基本となります。本講習では、感染症を予防するための基礎的理解として、感染源となる微生物に関する知識に加え、感染のしくみ、感染症予防の基本的対応（標準予防策）、消毒薬や治療薬等について具体的に解説します。感染症への基礎的理解が、日ごろの健康や教育の場として望ましい学校環境の維持に役立つことを期待します。



薬学

## 病院薬剤師の仕事

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階  
セミナー室9

052

准教授 寺島 朝子

### 内容

病院薬剤師の仕事を知っていますか？少し前に病院薬剤師を主人公にした「アンサンブル・シンデレラ」という漫画がドラマ化されましたが、それまで病院で働く薬剤師に脚光が当たることはありませんでした。しかし、もし薬がなければ治療はできないのです。そして「薬あるところに薬剤師あり」です。実は、知られていない様々な働き方をしている、とてもやりがいのある仕事です。本講義では、そんな病院薬剤師の仕事ややりがいについてお伝えします。



薬学

## 解熱・鎮痛薬はなぜ効くの？

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 7階セミナー室11

057

准教授 山崎 泰広

### 内容

みなさんが普段何気なく使っている解熱・鎮痛薬は、なぜ効くのでしょうか？  
このメカニズムの鍵を握っているのは、細胞膜から作られるある物質です。本講義では、薬学部でみなさんが学ぶことになる「生理学」や「薬理学」の知識を駆使することで、痛みがくすりで抑えられる仕組みについて紹介したいと思います。



薬学

## 光るタンパク質が病気の仕組みを解き明かす

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 7階セミナー室11

058

准教授 山崎 泰広

### 内容

みなさんは光るタンパク質・GFP をご存じでしょうか？GFP はオワンクラゲから発見された蛍光たんぱく質で、この発見により 2008 年に発見者の下村博士はノーベル化学賞を受賞しています。本講義では、このタンパク質が病気の仕組みを解明する上で如何に用いられているかについて、私の研究テーマである高脂血症や胆石症の話を変えながら紹介したいと思います。



薬学

## アメリカ研究留学体験記

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 5階セミナー室7

059

講師 池上 大悟

### 内容

薬学部を卒業した後の進路の1つとして研究者という道があります。研究者の中でも薬学研究を通して、アメリカに留学した経験やアメリカの生活で体験したことなどについてお話しします。いつ行く？どうやって行く？など世界での活躍を目指す学生や、海外は興味あるけど英語に言語の壁を感じてしまうといった学生に、少しでも海外での仕事・生活を身近に感じてもらえればと思います。





薬学

## エピジェネティクス医科学 -DNAを操るメカニズム-

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 5階セミナー室7

060

講師 池上 大悟

### 内容

ヒトの身体を構成する細胞1つ1つは全て同じDNAを持っています。それぞれ同じDNAを設計図としているのに、なぜ皮膚は皮膚、髪の毛は髪の毛など決まった種類の細胞にしか変化しないのでしょうか。DNAを操るエピジェネティクスというメカニズムとその異常によって起こる疾患についてお話しします。



薬学

## 細菌と薬学

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階セミナー室1

061

講師 市丸 嘉

### 内容

人間は37兆個の細胞からできていると言われていますが、時に1個の細胞からできている微生物に体調を崩されてしまいます。本講義では、微生物の中でも特に細菌を中心に、「微生物の生存戦略」「微生物と薬の戦いの歴史」「感染症予防と薬剤師」についてお話しします。



薬学

## 薬学と化学と科学のはなし

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階セミナー室1

062

講師 市丸 嘉


### 内容

薬学部の入試では化学の試験が課されることがほとんどです。では、薬学とは化学なのでしょうか？また化学の他にどんなことを勉強するのでしょうか？本講義では、最新の薬剤師国家試験問題を一緒に解きながら、「薬剤師になるためにどんな勉強をしているのか」「高校でどんなことに興味がある人が薬学部に向いているのか」についてお話しします。




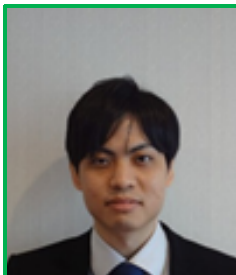
薬学 063	乳がんとくすり	研究室場所 東戸塚キャンパス 薬学部棟 4階セミナー室6
	講師 尾関 あゆみ	
<b>内容</b>		
<p>現在、日本人の2人に1人は一生のうちにがんと診断されると言われています。乳がんは日本人女性が罹患する最も多いがんですが、男性が全く罹患しないわけではありません。本講義では乳がんと抗がん剤治療についてお話しします。</p>		<p>No Image</p>

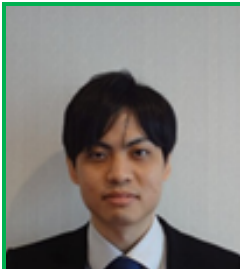
薬学 064	医療用麻薬のうそ？ほんと！	研究室場所 東戸塚キャンパス 薬学部棟 4階セミナー室6
	講師 尾関 あゆみ	
<b>内容</b>		
<p>「麻薬」という言葉を聞くと、「怖い…」 「どの薬も使えなくなって最期に使う薬」というイメージがありませんか？「医療用麻薬」は適正に使用することで痛みを苦しむ患者さんの心強い味方になります。本講義では医療用麻薬の正しい知識についてお話しします。</p>		<p>No Image</p>

薬学 065	ワクチンについて	研究室場所 東戸塚キャンパス 薬学部棟 8階教員室8
	講師 小田中 啓太	
<b>内容</b>		
<p>ワクチン開発の歴史について説明し、百日咳ワクチンや肺炎球菌ワクチンなど現在使用されているワクチンの紹介をします。</p>		



薬学 066	抗生剤について	研究室場所 東戸塚キャンパス 薬学部棟 8階教員室8
	講師 小田中 啓太	
<b>内容</b> <p>現在使用されている抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬の薬効などを説明します。さらに、新規抗菌薬開発や抗菌薬に関する研究についても少し紹介します。</p> 		

薬学 067	タンパク質の形と薬	研究室場所 東戸塚キャンパス 薬学部棟 3階教授室7
	講師 加藤 紘一	
<b>内容</b> <p>タンパク質はからだを作り、機能を調節するために重要な物質です。また、多くの薬はタンパク質に作用して治療効果を発揮します。体内にあるタンパク質に薬がどのように結合し、作用するのか具体例を紹介します。</p> 		

薬学 068	薬学・オブ・ジ・アカデミー	研究室場所 東戸塚キャンパス 薬学部棟 3階教授室7
	講師 加藤 紘一	
<b>内容</b> <p>薬学部では何を学び、薬剤師はどのような仕事をし、創薬とはどのように行われているのか。広く浅く紹介し、薬学への入口に招待します。</p> 		

薬学

## 病気と薬の話～ポンペ病を例として～

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 7階セミナー室12

069

講師 殿山 泰弘

## 内容

世界には、原因不明の希少疾病が未だに数多く存在します。そして、それらの病気の原因を突き止め、治療薬を開発するために世界中の研究者が日夜研究をしています。遺伝性の希少疾病であるポンペ病は、幸運にもその努力が実り、治療法が確立している数少ない病です。今回の講義では、ポンペ病治療薬開発の経緯が描かれている映画「小さな命が呼ぶ時」を紹介して、ポンペ病とその治療薬についてお話しします。



薬学

## カビのつくる薬、薬の構造を決めるには？

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階教授室5

070

講師 中橋 奨

## 内容

私たちの生活では、天然資源の利用が欠かせません。大昔の薬が薬草であったように、医療の分野においても多大な恩恵を受けています。様々な天然資源から薬が生み出され、それらを発見した研究者の中にはノーベル受賞者もいます。本講義では、かびなどの自然界から発見された薬、薬を探す方法、薬の構造を決める方法を紹介します。



薬学

## しゃっくりの原因は？

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階教員室6

071

講師 細谷 龍一郎

## 内容

最近しゃっくりをしましたか？  
皆さんにとって、とても身近なしゃっくりですが、その発症メカニズムの多くは謎に包まれています。しゃっくりは薬の副作用としても発症し、そのうち約90%が男性です。どうして薬でしゃっくりが起こるのか、なぜ男性ばかりなのか？皆さんと一緒に、しゃっくりの謎にせまります。



薬学

## 救急医療の現場に薬剤師は必要か？

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階教員室6

072

講師 細谷 龍一郎

### 内容

皆さんが想像する救急医療の現場に、薬剤師はいますか？

ICUと呼ばれる集中治療室で働く薬剤師は、薬の管理だけではなく、体に入った薬の濃度を測定したり、投与量を考えたり、患者さんの状態を確認したりと、多くのことをしています。医師や看護師とともに事故現場などに急行し、治療に参加する薬剤師もいます。実際に救急医療の現場にいた薬剤師より、その役割と効果についてお話しします。



薬学

## 災害医療の現場に薬剤師は必要か？

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 6階教員室6

073

講師 細谷 龍一郎

### 内容

日本は地震や豪雨など災害が多い国です。病院や薬局も被災し十分な医療が行えないことも多く、医療の支援はとても重要です。その中で被災地に派遣される医療チームが活躍します。怪我をした方、血圧が上がってしまう方、眠れない方、いつもの薬を失くしてしまった方等、多くの方が自身の健康に悩んでいます。そのような被災地の中で、薬剤師は何ができるのでしょうか。災害医療に携わる薬剤師について皆さんと一緒に考えます。



薬学

## そのくすり、運転前に飲んで大丈夫？

研究室場所

東戸塚キャンパス  
薬学棟 4階  
セミナー室 4

074

助教 浦 裕之

### 内容

現在、我が国で使用可能な薬の中には、副作用のために服用後の自動車運転が禁止されているものがあります。実は、市販薬の中にも自動車運転禁止薬が含まれており、購入時には注意が必要です。今回の講義では、市販薬を中心に自動車運転禁止薬についてお話しします。



薬学

## ジェネリック医薬品はどうして安いのか？

研究室場所

075

助教 江川 大地

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 3階セミナー室3

### 内容

ジェネリック医薬品を知っていますか。「同じ成分で値段の安い薬」と説明を受ける事が多いと思います。では、同じ成分なのに、どうして値段が違うのでしょうか？値段が安いと何が良いのでしょうか？ニュースでよく取り上げられる、国民医療費の話題などにも大きく関わっています。本講義では、医薬品の開発や医療費の問題、そして薬剤師の役割について紹介します。



薬学

## アンチ・ドーピングについて考えてみよう！

研究室場所

076

助教 須藤 遥

東戸塚キャンパス 薬学棟 8階 教員室 8

### 内容

2015年、ロシアの組織的なドーピングが明らかとなり、世界を大きく驚かせました。ロシアの選手は現在もロシア代表として国際大会に参加することができません。なぜドーピングはいけないのでしょうか？自分には関係ないことでしょうか？本講義では、スポーツ界における薬剤師の役割やドーピング違反となる薬のメカニズム・検査方法を学びながら、アンチ・ドーピングについて考えていきます。



薬学

## 飲んだ薬はどこに行くのか？ マクロ的視点から見た薬物の運命について

研究室場所

077

助教 曾川 甲子郎

東戸塚キャンパス  
薬学部棟 7階教員室7

### 内容

お薬は服用後、薬効を発揮し排泄されますが、その後お薬はどこに行くのでしょうか。本講義では、排泄後の薬物に焦点を当て、放流先である河川の現状や課題について解説し、持続可能な社会を実現するためのこれからのことを考えていきます。



## 内容

便秘や下痢は多くの人が体験する症状ですが、デリケートな部分もあり相談しにくい内容です。しかし、ずっと我慢して過ごすことも生活の質(クオリティオブライフ)を低下してしまいます。今回の講義では、市販薬を中心とした下剤の種類や飲み合わせ、浸透圧を利用した下剤の作用メカニズムなどについてお話します。



## 湘南医療大学

### 入試事務室

〒244-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃 16-48

**TEL. 045-821-0115**

FAX. 045-821-0127

E-mail : [nyushi@sums.ac.jp](mailto:nyushi@sums.ac.jp)

HP : <https://sums.ac.jp>